

出来事・話題

■ **マリンピア日本海**
◆ 7月15日リニューアルオープン
◆ ホスピタリティの充実
来場者数 約353,000人 (9月末)

■ **新潟まつり**
◆ 8月9日～11日開催
◆ 「まちなか花火」
3日間連続で打ち上げ
参加者数 952,000人 (過去最高)
昨年比 +147,000人

The block contains two main sections. The top section is for "Marinepia Japan Sea" (マリンピア日本海), featuring a photo of dolphins and text about its July 15th reopening and improved hospitality, with approximately 353,000 visitors by the end of September. The bottom section is for "Niigata Festival" (新潟まつり), featuring a photo of fireworks and text about the August 9-11th event, including the "Machinaka Fireworks" (まちなか花火) and a total attendance of 952,000 people, a record high, with an increase of 147,000 from the previous year.

新潟を拓く10大プロジェクト

成果・到達点

- ① 防災・救援首都
- ② 食育と全小学生の農業体験
- ③ ニューフードバレー
- ④ 持続可能な公共交通体系を構築
- ⑤ まちなか再生・都心軸の明確化
- ⑥ 在宅医療・介護の充実
- ⑦ 障がい者施設・雇用の充実
- ⑧ 航空機部品産業の本格育成
- ⑨ 創造都市づくり
食のユネスコ創造都市ネットワーク登録
- ⑩ 新潟にふさわしい新しい都市制度確立



震災対策・津波対策 ☆


津波避難ビルの指定さらに拡大

民間**14**施設(協定) 公共**82**施設
約**191,100**人が避難可能

イオン新潟青山店
8月5日協定締結
ほか、ホテル・マン
ションなど3施設
5月1日協定締結

学校施設の耐震化

校舎	88.3% (666/754棟 残88棟)
体育館	97.8% (改築予定5棟を除くと100%)



矢代田小学校(秋葉区)

◆ **平成27年度までに耐震化を完了予定**



豪雨対策 ☆

田んぼダム

- ◆ 豪雨による農作物や住宅地への浸水被害を軽減
- ◆ これまでに約5,000ヘクタールを整備
- ◆ 江南区天野をモデル地区に選定、詳細な軽減効果を検証

調整装置(例)

断面図

除雪対策・地域防災 ☆

コミュニティ除雪の拡大

登録団体 (コミ協・自治会・PTAなど) **106団体** (24年度)
 登録者 **1,502名** (24年度)

歩道除雪機

- 奨励金の支給や歩道除雪機の貸与で支援
- 歩道除雪機械購入補助制度を新設 (H25年度~)

地域の特性にもとづく「防災教育・訓練」

トライアル事業 茨曾根小学校で実施

結果を検証し、回数など見直し
 全市での展開を検討する

茨曾根小学校 6年生 (南区)

暮らしやすい都市づくり

在宅医療・介護の充実 ☆

介護サービスの基盤整備

特別養護老人ホーム
美咲の里（中央区）

特別養護老人ホーム
などの介護施設の整備を推進



	H24年度末	H25年度末 （計画分）	H26年度末 （計画分）
施設数 （広域・地域密着型）	66施設	71施設	73施設
定員 （増床分含む）	4,340人	4,738人	4,867人

在宅医療・介護の充実 ☆

地域包括支援センター強化

■すべての地域包括支援センターに
「機能強化職員」を配置

27施設 27名 H25年度中に完了

機能強化職員

- 出張相談
- 訪問による実態把握
- 見守り支援を行うネットワークの構築


在宅医療・在宅介護連携支援モデル事業（12月～）



障がい者施設・雇用の充実 ☆

就労支援施設の設置


■障がい者就業支援センター
「こあサポート」の設置（10月1日）




市総合福祉会館（中央区）

官民連携による就労支援

■行政・民間事業者・ボランティア団体
三者共同による協定締結（5月31日）



8月1日 設立  life（株）アイエスエフネットライフ新潟

⇒ 障がい者100名の雇用創出を目指す

DV対策・児童虐待対策

DV相談窓口の拡充

■ **配偶者暴力相談支援センター設置** (H24. 7)
相談員を増員 3名 → 4名 (H24. 12)

区の女性相談員を増員
3名 → 8名 (H25年度中)

乳児院の設置

■ **児童虐待などによる乳児を保護・相談**
 ◆ **市内の設置は初、H27年度供用開始** (予定)

0歳～1歳未満 (2歳位まで)	乳児院
1歳以上～18歳未満	児童養護施設



ひとり親支援・住環境支援

みなし寡婦(夫)控除

■ **未婚のひとり親家庭も「寡婦(夫)控除」**をうけたとみなし各制度を運用

13制度で運用開始
 保育料、ひまわりクラブ利用料など

健幸すまいリフォーム支援事業

■ **子どもや高齢者が安心して暮らせる住環境を創出するため、住居のバリアフリーリフォーム**などへ補助

支援拡大 3億円(当初) + 1億円(補正)





救援都市・日本海拠点都市 ☆

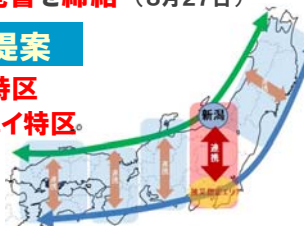
大規模災害時における他都市との協力

■ **仙台市に続き、横浜市水道局と燃料供給に関する覚書を締結** (8月27日)

「国家戦略特区」に提案

I. **ニューフードバレー特区**
 II. **環日本海ゲートウェイ特区**
 III. **簇業特区**
そつぎょう

■ **県・上越市・聖籠町と共同でエネルギー戦略特区も提案**



まちなか再生・都心軸の明確化 ☆

新潟駅連続立体交差事業 万代広場整備等との連携

◆ **にぎわい空間の創出に向けた部分整備** (H27年夏前供用開始)


◆ **鳥屋野潟南部エリアとの機能連携**
(湊町・開港150周年・花街文化・萬代橋、etc)

まちなか(地域)の魅力発掘・活用

◆ 「**潟**」の魅力 ⇒ 「**潟学**」「**潟エコミュージアム**」

◆ **地域の個性化**
デスティネーションキャンペーン連携
鉄道の町、岩室温泉開湯三百年祭 など





創造都市づくり ☆

食のユネスコ創造都市ネットワーク登録

■ **食文化(ガストロノミー)分野で日本初の登録を目指す**

■ **申請様式変更に伴い再提出準備**

米を中心とした豊かな食文化

文化・スポーツコミッション設立 (10月25日)

■ **文化・スポーツイベントの誘致強化**

■ **交流人口拡大**




航空機部品産業の本格育成 ☆

航空機産業の集積

- 西蒲区に国内初の航空機エンジン部品共同工場建設を支援
- 第2の共同工場を提案に向けた取組み



製造エンジンと製造部位のイメージ

NIIGATA SKY PROJECT

- 現在開発中の小型ジェットエンジンを活用した小型無人飛行機(UAV)の開発
- 新潟空港周辺での航空機産業の集積に向けた取組み



田園文化都市づくり



いくとぴあ食花 ～来場者100万人達成～



食育・花育センター
来場者**53万人**



こども創造センター
来場者**17万人**

子どもたちが多様な体験を通して学ぶことにより生きる力を育む



動物ふれあいセンター
来場者**30万人**
(※プレオープン期間含む)

食と花の交流センター (民活ゾーン)
平成26年6月(予定)

- 花やみどりに囲まれた安らぎとくつろぎの見本園
- 直売所やレストラン

ニューフードバレー ☆

アグリパーク (H26年6月オープン)	農業活性化 研究センター
加工支援 食品加工支援センター	生産拡大
販路拡大 直売所	付加価値向上
担い手育成 研修施設 (教育ファーム)	

新潟を6次産業化の基地に

- 一体的な支援の推進

生産拡大	加工支援	販路拡大
	商品開発	新商品販路

- 売れる農産物拡大への誘導
- 関係機関の連携とプロモーション推進

食育と全小学生の農業体験 ☆

教育ファームの実現 加工体験

- 全ての小学生に農業体験を
「アグリ・スタディ・プログラム」



農業体験



動物とのふれあい「命と食」



加工体験

農家	農業を通じた 学びの提供	子ども・市民
・担い手育成のきっかけづくり ・新たな農業を展開	農業を応援	・生きる力を育む ・食育の推進 など
農業の活性化		農業を通じた人づくり

農業支援

がんばる農家支援事業

- 意欲を持って農業に
取り組む**農業者を支援**

H24年度 654件
(H21年度比) (150件増)

補助対象経費の内容

- ◆ **機械・施設等整備支援**
上限事業費300万円の1/3
- ◆ **ソフト事業支援**
上限事業費300万円の1/2




マンガ・アニメ スポーツ振興

がた面えす Vol.4 2013.11. 2(SAT)・3(SUN)

■年々来場者数が増加

H22年度 約2万3千人 → H24年度 約4万6千人

■アイスアリーナ

■新潟ヒルクライム

■来年2月オープン予定

■アサヒアレックスホールディングスをネーミングライツパートナーに決定

■9月8日開催

■弥彦山スカイライン 約270人が力走







持続可能な公共交通 ～現状と今後～ ☆

現状

利用者の減少 → サービスの維持困難 → 負の連鎖 → 値上げなどサービスの低下 路線の減便・廃止

10年間で

バス利用者数が約40%減
バス運行便数が約20%減

◆マイカー依存が高いことが大きな要因である。

今後の予定

■新バスシステム運用開始（平成27年夏前）

■持続可能なバスシステムを段階的に構築

持続可能な公共交通 ～新バスシステム～ ☆


■ **第1回説明会**
 <新バスシステムの総論について説明>
 ■ **第2回説明会**
 <BRT当初運行計画案とバス路線再編案について説明>

期間 平成25年 4月18日～9月30日

回数、参加人数 約80回 約3,200人
 おもな説明会: まちづくりトーク(春)、各区、沿線コミ協 など

おもなご意見

- ▶ 将来を考えれば、新たな取り組みは必要。
- ▶ もう少し時間をかけた議論が必要。
- ▶ 乗り換えは仕方ないが、料金は上がらないようにしてほしい。
- ▶ バス路線再編案には賛成。連節バスは不要。 など



持続可能な公共交通 ～連節バス試乗会～ ☆

■ **連節バス体験試乗会** ～試乗会第1弾～

期間 平成25年 8月30日～9月3日

参加人数 約1,700人

対象 一般参加者(応募)・学生
 自治協議会・沿線コミュニティ協議会
 その他(市会議員、関係機関など)

※走行空間などの検証、課題の確認、整理も実施



試乗会の様子



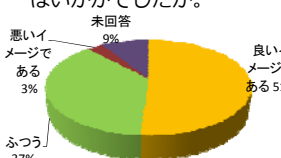
市内を走行する連節バス

持続可能な公共交通 ～連節バス試乗会～ ☆

体験試乗会アンケート結果

▶ アンケート配布者 1,497人
 ▶ 回答者数 約1,100人(回収率74%)

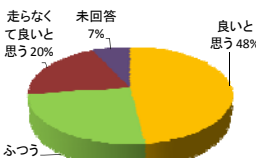
Q: 連節バスに乗ってみて、連節バスに対するイメージはいかがでしたか。



悪いイメージである 3%
 平均 37%
 良いイメージである 51%
 未回答 9%

▶ 半数以上の方が、「良いイメージである」と回答

Q: 連節バスがまちなかを走ることにどう思いますか。



走らなくて良いと思う 20%
 平均 25%
 良いと思う 48%
 未回答 7%

▶ 概ね半数の方が「良いと思う」と回答

区役所の権限・組織 ～区によるまちづくり～ ☆

平成26年度の取り組み

- **各区が主体となった魅力あるまちづくり**
- **区の財源強化**
 - ・ 地域の実情をより反映（区提案予算）
 - ・ 人口等を指標に区づくり予算を増額
- **区の権限強化**
 - ・ 地域と学校との連携に係る機能強化
 - ・ 区長専決・委任事務の整理・拡充
- **区の体制強化**
 - ・ 課組織の再編成、課の名称変更の権限を区長に付与
- **市役所・区役所の連携による市政運営**
 - ・ 区に影響がある計画・事業は区と市の事前協議を徹底
 - ・ 区役所と市役所の事務分担の再整理

区役所の権限・組織 ～区によるまちづくり～ ☆

平成26年度の取り組み

- **新しい視点・発想によるリーダーシップの発揮**
- **公募区長の登用**
 - 区独自の取り組みによる自立した区政運営
 - 市全体への相乗効果、競争力を生み出す
 - 既存の業務を見直し、組織の活性化に繋げる
- **対象区**：北区、秋葉区、西区、西蒲区
- **任期**：3年
- **応募資格**：組織マネジメントのノウハウを有する人
- **その他**：1月上旬決定予定、就任前に研修を実施
意見募集した区民の声の反映 など

教育委員会 ～教育に責任を果たせる体制の構築～ ☆

平成26年度の取り組み

- ◆ **教育委員の担当区制**
 - 仕組み：地域の実態や課題を教育現場で収集
全市的な教育情報を発信
 - 体制：6人⇒9人へ増員
 - 担当区：2人で1区、1人の委員が2区を担当 ※教育長を除く
（平成26年度は4人1組で、4区を担当）

区担当教育委員

<p>意見交換・情報交換</p> <p>中学校区教育ミーティング （中学校区単位）の開催 地域教育コーディネーター、 コミ協委員、保護者 など</p>	<p>意見交換・情報交換</p> <p>区教育ミーティング （区単位）の開催 区自治協議会委員 など</p>
---	--

教育委員会 ～地域との連携・支援機能を充実～ ☆

平成26年度の取り組み

◆ **教育事務所の再編**（新たな機能を付加）
 （仮称）**地域教育連携室**を設置
 業務内容：**地域連携推進業務**
教育委員サポート業務
教育窓口業務

↓

5つの教育事務所
 <業務見直し>

→ **全ての区に設置**
 地域の教育窓口の充実

区民との協働 ～市民が主役となる自治の実現～ ☆

■ **区政・市政への多様な意見の反映**

平成26年度の取り組み

意見交換の場の新設・充実・拡大

市長との意見交換の場
 新たにコミュニティ協議会との懇談会を定期的で開催（今年度から先行して実施）
 ●年3回程度実施
 ●原則として全コミ協を対象

区長との意見交換の場
 区民と区長との意見交換機会の充実・拡大
 ●対象者
 ●開催回数
 ●テーマ設定 } などの再考

区民との協働 ～市民が主役となる自治の実現～ ☆

■ **地域とのさらなる協働の推進**

平成26年度の取り組み

区自治協議会との協働

■ **活動支援**
 ◎地域とともに新たな支援方法を検討（H25から）

■ **活動等の活性化**
 ◎自治協活動の市民への周知を強化 → 広報紙等
 ◎自治協委員研修会を充実 → 各区で研修会を実施

コミュニティ協議会との協働

■ **活動支援**
 ◎地域とともに新たな支援方法を検討（H25から）

■ **活動拠点の確保**
 ◎まちづくりセンター機能を充実 → 現状分析・改善
 ◎人材を育成・発掘 → 仕組みづくり

新潟州構想 ～県と政令市間の課題解決～ ☆

これまでの成果

- ハローワーク⇒ 一体的窓口「ワークポート新潟」開設
- 感染症対策、食の安全・安心 ⇒ 司令塔を一本化

これから実施

- **文化施設** (県民会館、りゅーとびあ、音文) → **市が一体的に管理** (平成27年度から)
- **住環境の整備** (県営住宅、市営住宅) → **段階的に市に移管** (平成28年度以降)
- **特別高度救助隊** → **県の連絡調整員派遣基準見直しを国に要望**

あらたなテーマ

- ◆ 万代島港湾地区のにぎわい創出
- ◆ 未就学児対策